

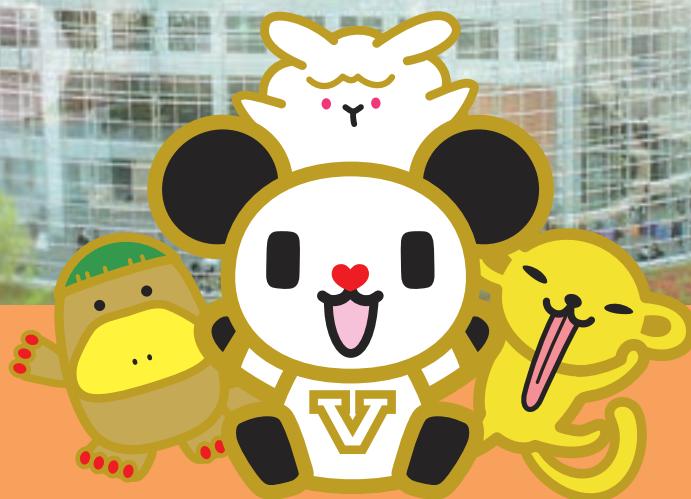


tv asahi

テレビ朝日ホールディングス

第79期 中間報告書

2018年4月1日 ▶ 2018年9月30日



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第79期中間報告書をお届けいたします。

当期は経営計画「テレビ朝日360° 2017-2020」の二期目にあたります。少子高齢化、インターネット広告市場の急伸など、放送業界を取り巻く経営環境が激変するなかでも、当社は視聴者・消費者やアドバイザーの皆様へのニーズに的確に応えられる「新しい時代のテレビ局」への進化を目指しております。放送波、インターネット、リアルイベントなど当社が保有するあらゆるメディアにコンテンツを360°展開し、その総体でお客様との接点を最大化していくのと同時に、映像コンテンツに限らずAR・VRなど先端技術を活用した新たなコンテンツビジネスの開拓に向けても様々なチャレンジをしております。

当中間期におきましては、本業である地上波の競争力を一層強化するために手掛けてきたタイムテーブル改革が功を奏しました。全日帯(6:00-24:00)・ゴールデン帯(19:00-22:00)・プライム帯(19:00-23:00)、全ての時間区分の平均視聴率で2位を獲得し、前年同期比でも大きく改善しました。10月クールに入ってから、「相棒」「リーガルV」「科捜研の女」という強力ドラマが高視聴率を獲得しており、10月の全日帯の月間平均視聴率では5年4か月ぶりに単独トップを獲得いたしました。一方、地上波の広告収入は、テレビ広告市況が一般的に低迷したことが影響して、減収となりました。

成長領域として注力しているインターネット事業におきましては、プロレスファン向けの動画配信サービス「新日本プロレスワールド」や「キャッチアップ」(地上波番組の広告型無料見逃し配信)の好調により、増収となりました。株式会社サイバーエージェントとの協業であるインターネットテレビ局「AbemaTV」もアプリダウンロード数が3,500万を超え、順調に利用者数を伸ばしています。

また、4月クールに放送したドラマ「おっさんずラブ」が大ヒットとなり、当中間期におきましてはDVD販売やインターネット動画配信関連の収入で大きく貢献しました。コミカライズ・イベント等も含めて、様々なメディアに360°展開できるコンテンツの成功例であり、今後も引き続きこうしたコンテンツの創出に注力してまいります。

当中間期の連結業績は、広告市況の低迷、「2018FIFAワールドカップロシア」など大型スポーツ番組に投下する番組制作費の増加などにより減収減益となりましたが、好調な視聴率の維持とさらなる向上、ヒットコンテンツのさらなる創出、コストコントロールの徹底などにより、業績の改善に最大限の力を注いでまいります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月



代表取締役会長兼CEO

早 河 洋

インターネット・オブ・ テレビジョンセンター始動!!

テレビ朝日では11月から新しい組織がスタートしました。インターネット・オブ・テレビジョンセンター(略称:IoTvセンター)です。IoTvは、「すべてのものがインターネットにつながる」というIoT(=インターネット・オブ・シングス)を発展させた造語で、「すべてのテレビ受像機がインターネットにつながる時代」を意識して命名いたしました。

インターネット技術の発展は、デジタル広告市場の急速な拡大、コンテンツの流通路の多様化など、私たち放送局のビジネスモデルに様々な課題を突き付けています。

こうしたなかで、テレビ朝日は変容する視聴者・消費者やアドバイザーのニーズに的確にお応えし、新たなビジネスモデル・収益構造を体現した「新しい時代のテレビ局」への進化を目指しております。インターネットに関わるあらゆる重要課題に統合的かつ迅速に対応するため、経営直轄の組織が必要であると判断し、この度新設する運びとなりました。

テレビ朝日 組織図(2018年11月1日付)

インターネット・オブ・
テレビジョンセンター(略称:IoTvセンター)



先端技術を活用した新たなコンテンツビジネス開拓の例



「夏祭り SUMMER STATION」において
全身を一瞬でスキャンし、3Dアバターを作り出す
技術「ANATOMe」を利用したアトラクションを展開



自律会話AIを搭載してパワーアップした
黒柳微子さんのアンドロイド「totto」

当社のインターネット動画配信ビジネスの全体戦略の構築、地上テレビジョン放送の同時配信に係わる課題の整理、伸長するデジタル広告市場への対応、VR/AR・AI・ロボット等の先端技術を活用した新たなコンテンツビジネスの開拓、等々、多岐にわたる重要課題について、今後このIoTvセンターが取り組んでまいります。

今後のIoTvセンターの活躍にご期待ください!

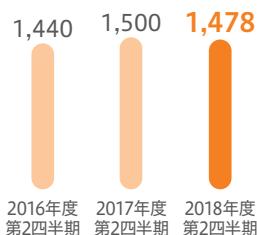
連結業績ハイライト

全日・ゴールデン・プライムの全区分で視聴率が大きく改善！ また、インターネット事業も引き続き好調を維持！

平日朝帯の報道情報ベルト番組の視聴率が過去最高の水準となり、さらに、大型スポーツ中継、連続ドラマ、バラエティー番組なども好調に推移したことから、2018年度上期は全日・ゴールデン・プライムの全区分で視聴率が大きく改善し、いずれも2位となりました。また、「AbemaTV」や「新日本プロレスワールド」などのインターネット事業も引き続き好調を維持しました。しかし、東京地区のスポット出稿量が前年同期を下回るなど、広告市況が厳しい状況だったことから、上期の連結売上高は1,478億円（前年同期比△1.4%）、営業利益は56億円（同△33.1%）、経常利益は71億円（同△27.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は49億円（同△25.4%）となりました。

	2016年度		2017年度		2018年度	
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期(予想)
売上高 (億円)	1,440	2,958	1,500	3,025	1,478	3,000
営業利益 (億円)	96	172	84	186	56	160
経常利益 (億円)	106	219	97	220	71	175
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (億円)	62	159	65	158	49	115
総資産 (億円)	3,999	4,260	4,329	4,355	4,510	—
純資産 (億円)	3,104	3,227	3,342	3,401	3,542	—
営業活動によるキャッシュ・フロー (億円)	95	234	96	181	67	—
投資活動によるキャッシュ・フロー (億円)	△101	△116	△18	41	△30	—
財務活動によるキャッシュ・フロー (億円)	△29	△74	△33	△65	△42	—
1株当たり配当金 (円)	中間20	期末20/通期40	中間20	期末30/通期50	中間20	期末30/通期50
配当性向 (%)	—	26.9	—	33.8	—	46.6

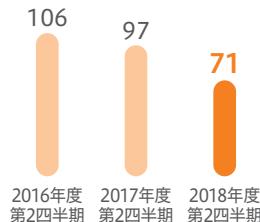
売上高(億円)



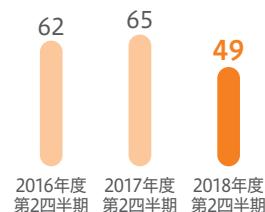
営業利益(億円)



経常利益(億円)



親会社株主に帰属する
四半期純利益(億円)



🏠 ホームページのご案内

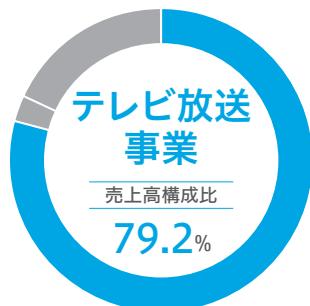
テレビ朝日 IR

検索

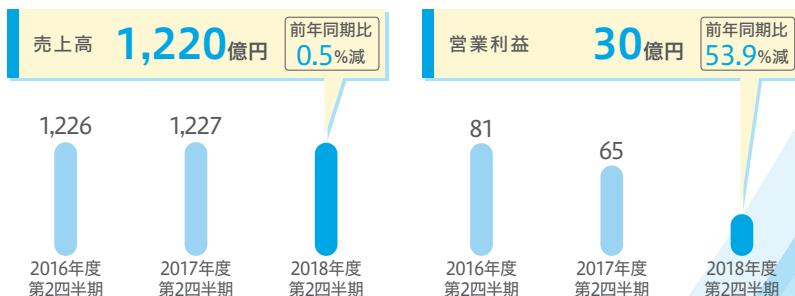
<http://www.tv-asahihd.co.jp/contents/IR/index.html>

当社IRサイトでは、決算短信、有価証券報告書、決算説明会資料など、株主・投資家の皆様のための情報をご覧いただけます。

事業別活動報告



事業別売上高、営業利益、売上高構成比はセグメント間取引調整前のものです。



2018年度上期の平均視聴率は、全日(6時～24時)7.6%、ゴールデン(19時～22時)10.1%、プライム(19時～23時)10.2%となり、全ての区分で2位となりました。

「グッド！モーニング」(7時台の上期平均9.7%)や「羽鳥慎一モーニングショー」(上期平均9.1%)などの報道情報ベルト番組が過去最高の水準となり、昨年度タイムテーブル改革の目玉としてスタートした日曜朝の「サンデーLIVE!!」も好調に推移しました。また、



前年同期比+1.4ポイントとなり過去最高を更新
「羽鳥慎一モーニングショー」
毎週月～金曜日 あさ8時から放送

「キリンチャレンジカップ2018」(日本×ガーナ 18.3%)や「2018FIFAワールドカップロシア」(ブラジル×コスタリカ 18.3%)などの大型スポーツ中継が高視聴率を獲得。4月・7月スタートの連続ドラマも堅調な結果を残し、なかでも土曜ナイトドラマ「おっさんずラブ」は大きな



大反響となった地上波での放送終了後も、動画配信、DVD、書籍、イベントなど様々な分野で関連コンテンツを展開！

土曜ナイトドラマ
「おっさんずラブ」

2018年4月～6月放送

反響を呼びました。さらに、「林修の今でしょ！講座」や4月にスタートした「帰れマンデー見っけ隊!!」などのバラエティ番組が好調に推移した他、過去最高の17.1%(7月28日放送)を記録した「人生の楽園」など

の番組も高い水準を維持しました。

以上の結果、前年同期比で全日+0.5ポイント、ゴールデン+1.0ポイント、プライム+0.8ポイントとなり、全ての区分で視聴率が大きく改善しました。

続きは次ページをご覧ください。

事業別活動報告

なお、広告業界におきましては、東京地区のスポット広告の出稿量が前年同期を下回るなど、引き続き厳しい状況となりました。

タイム収入は、アドバイザーの宣伝活動において柔軟性と効率性を重視する動きから、引き続き固定費削減傾向がみられ、レギュラー番組のセールスでは減収となりました。一方、単発番組につきましては、「2018FIFAワールドカップロシア」「AFC女子アジアカップ2018 FIFA女子ワールドカップアジア最終予選」「パンパシ水泳東京2018」などで増収となりました。

スポット収入は、東京地区の広告出稿量が前年同期を下回ったことなどから減収となりました。業種別で



4月スタートの新バラエティーも好調に推移

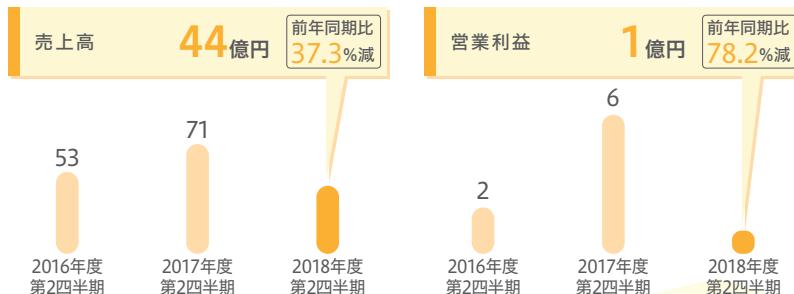
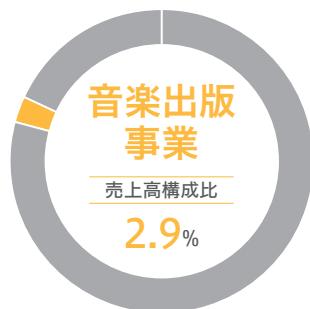
「帰れマンデー見っけ隊!!」
毎週月曜日 よる7時から放送



2000年10月の開始以来最高の17.1%を記録

「人生の楽園」
毎週土曜日 よる6時から放送

は、「教育・医療サービス・宗教」「交通・レジャー」などが好調な一方で、「趣味・スポーツ用品」「自動車・関連用品」「不動産・住宅設備」などは減収となりました。



テレビ朝日ミュージック所属のアーティスト「湘南乃風」が15周年記念全国ツアーを開催するなどしましたが、前年同期に開催した「ケツメイシ」の全国ツアーの反動減などにより、減収減益となりました。

湘南乃風
「15周年記念全国ツアー
『風伝説 ～一五一会 TOUR2018～』」





インターネット事業、DVD販売などが伸びたことから、増収増益となりました。

● **インターネット事業**

「バラエティステーション presented by テレ朝」などの新企画もスタートしたインターネットテレビ局「AbemaTV」向けのコンテンツ提供や、動画配信事業「新日本プロレスワールド」等が引き続き好調を維持しました。

● **イベント事業**

7月14日より44日間にわたって開催された5回目となる「テレビ朝日・六本木ヒルズ夏祭り SUMMER

STATION」は、「ドラえもん」のARアトラクションや最先端のデジタルスポーツ等が人気を呼び、昨年に引き続き500万人を超える来場者を記録するなど、夏恒例の大型イベントとして好評を博しました。

● **DVD販売など**

土曜ナイトドラマ枠で放送され、大反響となった「おっさんずラブ」のDVDや公式ブック等の販売が好調に推移しました。

「テレビ朝日・六本木ヒルズ夏祭り SUMMER STATION」



©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK

ドラえもんARアトラクション「クジラと謎のパイプ島」

最先端技術を活用したアトラクションなどが人気を博し、都心部で開催される夏恒例の大型イベントとして定着しました。



会社情報 / 株式情報 (2018年9月30日現在)

会社の概要

商号	株式会社 テレビ朝日ホールディングス (TV Asahi Holdings Corporation)
設立	1957年11月1日
資本金	366億4,280万円
本店所在地	〒106-8001 東京都港区六本木六丁目9番1号
事業内容	株式等の保有を通じて企業グループの統括・運営等をおこなう認定放送持株会社

役員

代表取締役会長兼CEO	早河 洋	取締役	香山 敬三
代表取締役社長	吉田 慎一	取締役	浜島 聡
専務取締役	武田 徹	取締役	岡田 剛
専務取締役	藤ノ木正哉	取締役	沖中 進
取締役	角南 源五	取締役	菊地 誠一
取締役	亀山 慶二	取締役	渡辺 雅隆
取締役	川口 忠久	取締役(監査等委員)	数内 宜尚
取締役	両角 晃一	取締役(監査等委員)	池田 克彦
取締役	篠塚 浩	取締役(監査等委員)	弦間 明

(注) 岡田 剛、沖中 進、渡辺雅隆、池田克彦および弦間 明の各氏は、社外取締役であります。

株主様向け「テレビショッピング販売商品」特別優待価格でのご提供のご案内

テレビ朝日グループで通販事業を担当する(株)ロッキングライフの商品の中から、株主様を対象に、厳選いたしました商品を特別優待価格でご提供しております。

同封のパンフレットに記載の専用ホームページもご覧いただき、ご希望の商品がございましたら、パンフレットおよび専用ホームページに記載の「通話料無料 ご注文専用番号」にお電話ください。

※ホームページでは、パンフレット掲載商品の内容をさらに詳しくご紹介しております。

ホームページの商品説明を印刷して、お手許にお送りすることもできますので、下記「通話料無料 お問い合わせ専用番号」にお気軽にお電話ください。

お問合せ先

株式会社テレビ朝日ホールディングス 株主様ご優待

通話料無料
お問合せ
専用番号

0120-532-510

10時～18時 ※日曜・祝日・12/30～1/3は除く



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

株式状況

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
300,000,000株	108,529,000株	20,298名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社朝日新聞社	26,651,840	24.80
東映株式会社	16,400,200	15.26
公益財団法人香雪美術館	5,030,000	4.68
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 大日本印刷口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	4,030,000	3.75
九州朝日放送株式会社	3,333,500	3.10
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,832,700	2.64
公益財団法人朝日新聞文化財団	2,297,100	2.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,268,100	2.11
株式会社リクルートホールディングス	2,100,000	1.95
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,871,419	1.74

(注) 持株比率は、自己株式(1,069,338株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)(電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031
(ホームページURL)	https://www.smbt.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 http://www.tv-asahihd.co.jp/ ただし、ホームページに掲載できない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する朝日新聞に掲載いたします。
上場取引所	東京証券取引所
外国人等の株主名簿への記載または記録の制限	当社の定款には次の規定があります。 定款第10条 本会社は、次の各号のいずれかに掲げる者から、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することの請求を受けた場合において、その請求に応ずることにより、次の各号に掲げる者の有する議決権の総数が、総株主の議決権の5分の1以上を占めることになるときは、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することを拒むものとする。 1. 日本の国籍を有しない人 2. 外国政府またはその代表者 3. 外国の法人または団体 4. 上記1ないし3の各号に掲げる者により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人または団体 ②本会社は、法令の定めに従い、前項各号に掲げる者が有する株式について、株主名簿への記載もしくは記録の制限または議決権の制限を行うことができるものとする。



〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1
電話 (03)6406-1115 URL <http://www.tv-asahihd.co.jp/>